

提案審査書類の審査結果及び審査講評

1 工事名

令和6年度奈良井発電所大規模改修工事

2 審査日

令和6年8月9日

3 参加資格確認

参加資格審査書類提出者名	参加資格の有無
カネトモ・長大・グリーン電力エンジニアリング・朝日機工特定建設工事共同企業体	有
フソウ・日之出特定建設工事共同企業体	有
株式会社 ヤマウラ	有

4 評価結果

(1) カネトモ・長大・グリーン電力エンジニアリング・朝日機工特定建設工事共同企業体

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400点)	事業全体に関する項目 (180点)	84.5
	設計建設業務に関する項目 (220点)	108.5
価格評価項目 (100点)		71.1
合計点		264.1

(2) フソウ・日之出特定建設工事共同企業体

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400 点)	事業全体に関する項目 (180 点)	94.0
	設計建設業務に関する項目 (220 点)	99.5
価格評価項目 (100 点)		100.0
合計点		293.5

(3) 株式会社 ヤマウラ

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400 点)	事業全体に関する項目 (180 点)	117.5
	設計建設業務に関する項目 (220 点)	132.5
価格評価項目 (100 点)		71.8
合計点		321.8

5 審査講評

技術評価会議の評価概要は以下のとおりです。

カネトモ・長大・グリーン電力エンジニアリング・朝日機工特定建設工事共同企業体においては、課題解決策として発電所建屋の建替えに踏み込んだ検討やこの出力帯ではあまり例を見ない発電機方式を採用するなど、斬新で挑戦的な提案がされていました。

フソウ・日之出特定建設工事共同企業体においては、事業スケジュールや施工計画など全体を通して正統派で堅実な提案がされていました。また、ここ数年の物価上昇の中で、低廉な提案価格は評価できるものでした。

株式会社ヤマウラにおいては、片桐ダム地点での発電所建設の実績を活かして、様々なところに配慮のある提案がされていました。また、水車発電機に力を入れていて、出力及び電力量の増加に対する積極的な取り組みは評価できるものでした。

評価会議は、公正な評価の上で、評価点の最も高かった株式会社ヤマウラを優先交渉権者として選定しましたが、いずれの者の提案も十分に期待の持てる内容でした。3者の多大なる努力に対し、深く感謝を申し上げます。

株式会社ヤマウラに対しては、県が示した要求水準はもちろんのこと、提案審査書類及びプレゼンテーション時の質疑応答の内容を、提案価格の中で確実に履行することが求められますが、その上で、次の事項を評価会議の意見として尊重することも求めます。

○周辺環境への配慮

安全に留意し施工するとともに、下流利水者に支障ないように十分に検討したうえで施工すること。特に、下流への油漏れ等の水質汚濁が起きないように十分配慮した工事を実施すること。

○施工管理

建設部が実施する工事と同調しつつ本事業を円滑に進めるため、ダム設備と発電設備の切り分けを理解したうえで、ダム施設管理者とお互いに調整・検討して円滑に進めること。また、奈良井ダムの管理に対して十分に調整を行うこと。

○コンセプト等の遵守

出力及び電力量の増加について、CFD解析等を実施したうえで、確実に出力等の増加を図るとともに、止まらない発電所（故障等による停止が少ない発電所）を目指すこと。